

QST那珂研との技術交流会を開催（7月26日）



7月26日（水）、核融合技術の研究を行っている量子科学技術研究開発機構（QST）那珂研究所にて第2回技術交流会を開催しました（参加者数130名、内研究者60名）。

午前中の第1部では那珂研花田所長からご挨拶と那珂研の概況を説明いただき、先進プラズマ研究部井手部長からJT-60SAの状況、ITERプロジェクト部鈴木次長からITERの状況を分かりやすく説明いただきました。

昼からの第2部では参加会員16社の展示会を実施しました。前回からの継続出展は10社、新規出展は6社でした。那珂研の研究者の方々と技術交流ができ、見積依頼などの案件も数件得ることができました。交流会には那珂研の幹部の方々の他、村本県議会議員や先崎那珂市長にもご来訪いただき、盛会のうちに終了しました。

【出展会員】

(株)ウイット、(株)大塚製作所、大塚セラミック(株)、(株)オプスター、(株)化研、(株)関東技研、(株)サンメック、(株)スギノマシン、助川電気工業(株)、(株)ダイイチ・ファブ・テック、ツジ電子(株)、(株)テクノエーピー、(株)西野精器製作所、(株)日本アクシス、(株)Bee Beans Technologies、(株)宮本製作所（五十音順）



来年度も継続して開催する予定です。研究者の方々とお近づきになれる良い機会です。これまで参加されていない会員も是非参加いただきますようお願いいたします。

「県内企業向け量子線利用講座」スタート（9月1日）

9月1日（金）午後、県が総合科学研究機構（CROSS）中性子産業利用推進センターに事業委託している「県内企業向け量子線利用講座」の第一回基礎講座が、ひたちなかテクノセンター3F研修ホールで開催されました。

県ビームライン計測講座、ビームライン支援講座、ビームライン加工講座の3講座が開講され、終了後意見交換会がありました。計測講座では中性子だけでなくX線などの量子線の基礎から、計測に活用して何がわかるかまでを平易に学ぶことができました。支援講座では中性子実験装置を運転・保守し計測するための支援状況の説明がありました。加工講座ではこれからの装置改良案など具体的な検討案を含めて説明がありました。装置や部品を製造するメーカーにとって興味深い内容で、量子線を直接活用する予定のない会員も装置の改良等で協力できることは多いことがわかりました。

今後も本講座は継続して開催される予定ですので、皆様の参加をお願いいたします。

JAEAとの技術交流会（予告） （令和6年1月26日（金））

JAEA殿のご協力により技術交流会をJAEA核燃料サイクル工学研究所にて開催します。技術展示会にて研究者との繋がりが得られるだけでなく、JAEAの有する技術シーズや発注内容を知ることができる良い機会です。詳細は決まり次第ご連絡しますので、皆様のご参加をお願いいたします。